

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370401461
事業所名	グループホームえがお

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入、回覧板で地域情報を得るとともに事業所のイベントのビラを地域へ配り相互利用している。日々の散歩などで挨拶を交わすことで近隣住民と利用者が顔なじみとなっている。地域の防火パトロールに職員が参加している。事業所の敬老会などのイベントへ参加を呼びかけている。医療専門学校の実習生受け入れや、ボランティアの訪問もある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年に6回、運営推進会議が開催され、事業所の生活を参加者に報告している。毎回課題があがり、今年度は大規模災害時の避難についてや、徘徊老人おかえり支援事業への参加について考える機会となった。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	生活保護者受け入れもあり、区の担当職員と連絡をとっている。区のグループホーム連絡協議会に参加している。外部研修に該当する職員が参加している。ハローワーク職員の見学を受け入れ、事業所へ就職した人もいる。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	毎月の請求書に添えてホーム便りを発送している。訪問時に必ず職員が声掛けて家族の話をきくようにしており、要望や意見があがったら職員間で共有し、支援につなげている。外出の要望が出れば、できるだけ個別外出で応えるようにしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示)
3. 運営推進会議を活かした取組み	① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
	(例示)
4. 市町村との連携	① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示)
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価		—	×	○	○	○	×	○			